



第435号 2023年6月 名古屋教区ニュース

出て行こう! 名古屋教区101年目 神からの恵み AGIFTを告げるために

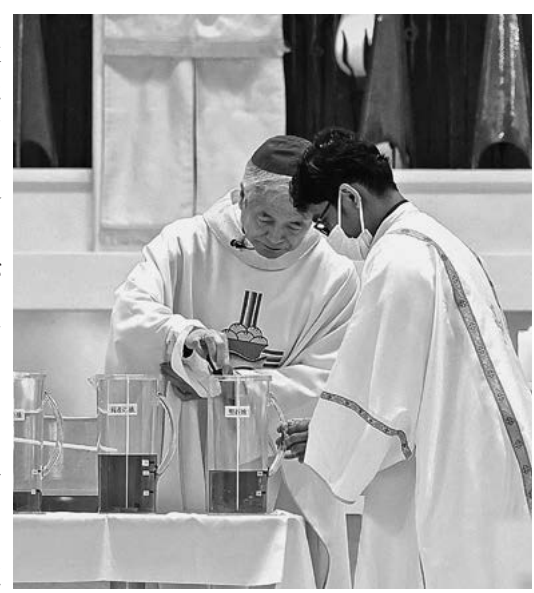
Table with 2 columns: Date and Event Name. Includes 4日 三位一体の主日, 11日 キリストの聖体, etc.

「共感する心と 神への忠実さ」 松浦教

聖香油ミサと金銀祝



教区で働く司祭たちが集まり司教と共にミサを司式する聖香油ミサが4月5日、布池教会で行われた。今年はおよそ150人の信徒も参加し、コロナ前に戻ってきたかのような光景となった。



聖香油ミサの中で司祭叙階・奉獻誓願のダイヤモンド祝・金銀祝が祝われた。該当する司祭・修道士から寄せられたメッセージから印象的な言葉を紹介します。

ダイヤモンド金銀祝にあたって 印象的な言葉を メッセージから 聖香油ミサの中で司祭叙階・奉獻誓願のダイヤモンド祝・金銀祝が祝われた。該当する司祭・修道士から寄せられたメッセージから印象的な言葉を紹介します。

えいごで聖句ドリル (6月11日の福音より) Whoever eats my (A) and drinks my (B) remains in me and I in him. わたしの肉を食べ、わたしの血を飲む者は、いつもわたしの内におり、わたしもまたいつもその人の内にいる。(ヨハネ福音書6章56節)

金沢教会

「浦上四番崩れ」流配キリシタン

野外ミサ・講演会・パネル展示でしのぶ

パネル展示でしのぶ

明治初年「浦上四番崩れ」で金沢に流配された28人のキリシタンをしのぶ野外ミサが4月29日、記念碑が建つ卯辰山で行われたII写真展。併せて、記念の講演会とパネル展示が金沢教会で開かれた。

野外ミサが行われた卯辰山の記念碑広場は、流

配された浦上キリシタンが収容された加賀藩の公衆浴場「湯坐屋」跡近くの山腹にある。1968(昭和43)年、金沢教会は創立80周年を記念してここを整備した。ミサは、この日の講演会の講師で長崎教区司祭、長崎純心大学教授、また日本司教協議会の列

聖列福特別委員も務める古巣神父と、石川地区の司祭5人の共同司式で進められた。深い木立に囲まれた新緑のドームの下で、金沢教会や東海地方からの信徒たち約40人が参列。共同祈願では、殉教者の姿と強い信仰を心に刻み、キリストの愛を力強く証

卯辰山



する者となりますようにと祈った。ミサに先立ち聖堂で開かれた講演会の題は「これは、私も受けたものです」。古巣神父II写真中

IIは「私は今日、昔話をするために来たのではありませぬ」と前置きし、ここ金沢では、線で結ばれた福者ユスト高山右近の歴史を通して未来が見えてくる、伝えていくことが大切であると語った。古巣神父のユーモア

も交えた語りにおよそ50人の信徒たちが耳を傾けた。パネル展示会II写真下

IIは信徒会館で開かれ、広島教区殉教地・巡礼地ネットワークから借り受けた20枚のパネルが並んだ。来場者は、浦上四番崩れの歴史の経緯や、金沢に流配された人々が長崎に帰還後に撮った集合写真に目を凝らした。パネルはこのあと、富山、福井の教会でも巡回展示された。

ミサと講演会の録画映像はYouTubeに配信された。「カトリック金沢教会」を検索して視聴することができる。(金沢教会・桑島)

浦上キリシタン

流配者のためのミサ

主税町教会

明治初期のキリシタン迫害「浦上四番崩れ」で名古屋に流配された人々をしのぶミサ(教区殉教者顕彰委員会主催)が4月29日、主税町教会記念聖堂で行われた。30人の信徒が集まり、殉教者顕彰委員会委員長・浅井太郎神父が司式、早川和彦助祭が奉仕した。



浅井神父と早川助祭(右)

国によって来日した欧米人のために教会が建てられるまでになった。浦上の潜伏キリシタンたちは1865年フランス寺と呼ばれた教会(大浦天主堂)でパリ外国宣教会のプチジャン神父と出会い、信仰を明かした。この報がヨーロッパに知られると「信徒発見」として大ニュースとなった。

その後、信徒の中には仏式の葬儀を拒否する者なども現れ、天皇を中心とする国家神道による国

づくりを進めていた明治維新政府は浦上キリシタンの弾圧に乗り出した。これを「浦上四番崩れ」と呼ぶ。流配地は遠く富山、金沢、名古屋にも及んだ。記録では名古屋には375人が流されている。浅井神父は浦上のキリシタンが名古屋に流されたことについて、「キリシタンがいなくなっていた名古屋で浦上キリシタンの強固な信仰は大きな影響を与えた。その後の名古屋における宣教は、その末裔である長崎の人々の信仰に支えられてきた」と結んだ。

ミサ終了後、参加者の要望で質疑応答をまじえた短い講話が行われた。名古屋教区歴史を振り返りながら、当時の宣教会や修道会の様子など、興味深い話を聞くことができた。

金沢では以前から浦上から流されたキリシタンを記念してきたが、今回初めて名古屋でも記念することができた。

今後の100年考える

愛岐B兄弟の集い

愛岐ブロック兄弟の集いが4月29日、多治見教会で開催された。参加者は52人。援助修道会シスター三好千春による講演「名古屋教区100年の歩み」II写真IIを聴き、ミサをささげた。



講演では、名古屋教区設立前・戦前・戦後と3つの時代に分けて、愛知、岐阜を中心にした教会の歴史が語られた。江戸時代末期にパリ外国宣教会(MEP)によって再宣教が始まった。MEP単独による宣教が続いたが、1922年、名古屋教区が設立された。この知牧区の時代は、長崎からの移住者が多い町を中心に、教会、幼稚園などが作られ、朝鮮半島出身の信者も多かった。

教会の多くは第二次世界大戦により焼け落ち、

IIは「私は今日、昔話をするために来たのではありませぬ」と前置きし、ここ金沢では、線で結ばれた福者ユスト高山右近の歴史を通して未来が見えてくる、伝えていくことが大切であると語った。古巣神父のユーモア

も交えた語りにおよそ50人の信徒たちが耳を傾けた。パネル展示会II写真下

IIは信徒会館で開かれ、広島教区殉教地・巡礼地ネットワークから借り受けた20枚のパネルが並んだ。来場者は、浦上四番崩れの歴史の経緯や、金沢に流配された人々が長崎に帰還後に撮った集合写真に目を凝らした。パネルはこのあと、富山、福井の教会でも巡回展示された。

訓練された「声」が基本

朗読奉仕研修会

典礼委員会主催による朗読奉仕研修会が4月29日、布池教会大聖堂で開かれた。岡崎・光ヶ丘高校のクリスマスページェントの指導にもたずさわる俳優・ボイストレーナーの桜木佳代さん(南山教会)を講師に招き、80人を超える参加者が集まった。

シスター礎(聖マリアの無原罪教育宣教師)が

最終に講師から「次回を希望しますか?」と問いかけられると、会場から「はい」という拍手が鳴り響いた。(教区典礼委員会)

「種まく人のたとえ」を

「種まく人のたとえ」を

えいごで聖句ドリル 答え

答え A = (b) flesh, B = (d) blood

【解説】

meat は(処理・加工された)食肉、flesh は肉体、bread はパン、wine はぶどう酒、vinegar は酢。

Table with 4 columns: Whoever, eats my flesh, and drinks my blood, remains in me. Japanese translation: ~者は誰でも 私の肉を食べる そして私の血を飲む とどまる 私の内に

日本語訳の後半「いつもわたしの…内にいる」が英語になると remains in me and I in him とじつに簡潔な表現になる。言葉のリズムを味わいたい。この文は① Whoever eats my flesh and drinks my blood remains in me と② I in him という2つの文が接続詞 and で結ばれている。② I in him には動詞がないが、本来は I remain in him. で、①の繰り返しを避けて remain が省略されている。①の Whoever は先行詞を含む複合関係代名詞 (whoever = anyone who) で、Whoever eats my flesh and drinks my blood (私の肉を食べ私の血を飲む者は誰でも) が主語、remains in me が述部となっている。(英文は The new American Bible、日本語は新共同訳聖書による)

とにかくやってみよう!

聖霊宣教師会

新しい聖霊宣教師会 (H.S.M.A) 聖霊会のカリスマを生きたる信徒協働者の会が再発足(2022年4月号参照)して2年目を迎えた。各会員は宣教師の分かち合いを通して、やりたいこと、できそうなことを互いに心を開いて話し合えるようになった。会員一人一人の霊性の成長に感謝。

今年度の目標が「とにかくやってみよう!」に

決まり、6月25日、トヨタスタジアムで聖心教会(愛知県豊田市)プラザル人グループ(代表・ドミンゴ神父)の開くフェスタジュニアのバザーに参加することになった。

震災・原発事故を乗り越えた唐辛子から生まれた小高工房の「小高一味」ほか、各種唐辛子製品を出品する。小高工房は、住民の憩いの場に留まらず、地域全体が元気になる様々な活動を続けている。また、原町区の障害者「さぼりとセンター」が「さぼりとセンター」のトートバックなど



小高工房代表の廣畑裕子さん



「さぼりとセンター」のトートバックなど

「とにかくやってみよう!」と不安を確かかな自信に変容を続けるH.S.M.Aのブースでお待ちしています。

「あ」から手作りのグッズ、聖霊会会員の作るカード、キーキも準備する。バザーの収益金は南相馬市にある特定非営利活動法人「さぼりとセンター」が計画している重度の障害者が暮らせるグループホームとショートステイ「えんじゅ」の建設のために寄付する。爆発事故の起きた福島第一原発から25キロ地点で暮らす障害者と家族は避難ができずこの地に残された。この11年で障害者の親の多くが亡くなり、幾人かの障害者たちは望まない他の地域の施設に入所した。親亡き後、障害者が安心して住めるようになるためのホームの建設資金である。聖霊会のシスター村上がここで奉仕活動をしている。

教区100周年記念・北陸ミニ巡礼 教区カリタス福祉委員会の旅

カリタス福祉委員会の山野聖嗣神父委員長と5人の委員に港教会信徒の運動協力者の合わせて7人で、「名古屋教区設立100周年教区聖年巡礼」の冊子を手手に4月28、29日、1泊2日の北陸地方ミニ巡礼に出かけた。

教区設立100周年記念として、訪ねる教会ごとにロザリオ一連を祈りながら旅を進めた。

最初の巡礼地は敦賀教会。主日のミサに参加し、

アルン主任司祭や信徒の方に温かい茶話会の歓待を受けた。次の鯖江教会は施設されていたため外から拝見。福井教会では片岡義博神父の迎えを受け、聖堂内で祈り、美しい教会内装や高山右近像など拝見した。

石川県に移動して三馬教会、金沢聖霊修道院聖堂を巡礼。夜は今回の巡礼で大きな協力と情報提供をいただいた片岡神父と一緒に夕食交流会を楽しむことができた。

翌29日は山野神父司式によって金沢聖霊修道院

聖堂でミサを捧げた。築92年、中央は畳が敷き詰めたこと、修道会のシスター方に感謝している。金沢教会は浦上キリシタン記念祭で、午前中は古巣聖父(長崎教区)の講演会に参加した。信仰は守るものではなく、受け渡すものであることを学んだ。

午後の記念ミサには時間の都合で委員1名が参加し、他のメンバーは帰途について。車中では「3人集まるところに私は必ずそこにいる」とイエスが言われたとおり、同じ信仰の仲間を感じる話で盛り上がった。このころずつと会議はZOOMで行われており、この旅

れ、小教区訪問でスタンブが増える楽しさと共にこの冊子を作ってくれた人、喜びの巡礼を支えてくれた人、そして信仰を守り伝えてくれた人々に想いを寄せてミニ巡礼は終了した。神に感謝! (参加者の一人)



敦賀教会



鯖江教会

で3年ぶりに対面で話し合うことができ、親近感が深まった。今回、ミニ巡礼の旅のしおりも用意さ



金沢教会



金沢聖霊修道院聖堂

晴天に恵まれました。 福信館炊き出しの会「春の感謝祭」報告

竹谷基



福信館炊き出しの会主催「春の感謝祭」を4月23日、皆様の理解と協力のもと無事開催できました。御礼とともに報告します。

コロナ禍前の2019年までは春のこの時期、ホームレスのための炊き出し資金捻出チャリティーバザーを行っていましたが、昨今の社会情勢では、ホームレスだけでなく、「子ども

食堂」を必要とするなど多様な生活困窮者が急増しています。炊き出しにもホームレス以外の方の利用が顕著になりました。そのことから今後の福信館炊き出しの会は、地元地域の生活困窮者にも目を向けなければと考えました。

「春の感謝祭」としまして。地元の方が立ち寄りやすいよう各教会からのボランティアの協力で、弁当の無料配布のほかリサイクルコーナーや軽食の模擬店を準備しました。晴天にも恵まれ、予想を超える多くの来場者で賑わいました。至らぬ点も多々ありましたが、地元

に愛されるため次回に向けて心新たにしていきたいと思います。

名古屋教区の小教区、修道院からの暖かい支援にも感謝申し上げます。

映画「ぼくたちの哲学教室」(https://youngplato.jp/) 文部科学省 特別選定 (少年、青年、成人、家庭向き) カトリック中央協議会広報 推薦

やられたら、やり返す? それでいいの?

北アイルランド、ベルファストにあるホーリークロス男子小学校では、「哲学」が主要科目になっている。ケヴィン校長は言う。「どんな意見にも価値がある」と。彼の教えのもと、子どもたちは異なる立場の意見に耳を傾けながら、自らの思考を整理し、言葉にしていく。自らの内にある不安や怒り、衝動に気づき、コントロールすることが、生徒たちの身を守る何よりの武器となるとケヴィン校長は知っている。



北アイルランド紛争によりプロテスタントとカトリックの対立が長く続いたベルファストの街には「平和の壁」と呼ばれる分離壁が存在する。平和を維持するのは簡単ではない。その困難はケヴィン校長と生徒たちの対話の端々にも現れる。

愛知 名古屋シネマテーク 2023年6月17日(土)~
岐阜 CINEX 2023年6月24日(土)~7月7日(金)
富山 ほとり座 順次公開
石川 シネモンド 順次公開

(名古屋・今池のシネマテークの7月末閉館が決まりました。マザーレサ映画祭などの企画でお世話になりましたので、たいへん残念です。)

名古屋オルガンの秋 presents

パイプオルガン ブランチコンサート

7月6日(木) 星降る夜 空と星と宇宙の浪漫
ホルスト:「惑星」より「木星」
ドビュッシー:「月の光」より
ウィリアムス:スター・ウォーズ組曲 他
10月12日(木) バッハ万華鏡
いつでも聴きたい! バッハの王道
トッカータとフーガニ短調 BWV565 小フーガ BWV578
前奏曲とフーガ変ホ長調 BWV552 他

開演 10時30分(開場10時)
愛知県芸術劇場コンサートホール
入場料 1,000円
パイプオルガン: 吉田文&トーマス・マイヤー=フィービヒ
チケット 二宮音楽事務所 052-505-0151・チケットぴあ・市内各プレイガイド
主催 名古屋オルガンの秋実行委員会
HP https://organaki.exblog.jp

サダナ ~神への道~【入門コース】

聖イグナチオの霊性を基に、「心と知性の静けさ」「神様との個人的な触れ合い」を体験します。
日時 入門B 6月11日(日) 9:30~17:00
入門C 7月9日(日) 9:30~17:00
場所 聖霊会 八事修道院 ミッションセンター 名古屋市昭和区八事本町1番地(駐車可)
指導 植栗 彌 神父 (イエズス会)
問合せ 梶上 暁子 メール ngosdn@gmail.com ☎050-7108-7410

〈以後の2023年度予定〉
■リピーターの会(入門ABC経験者のみ)
以下AとBは別内容。いずれかだけでも参加可能。
A 11月3日(祝)、B 11月4日(土)
■(初)フォローアップ(入門ABC経験者のみ)
11月5日(日)
■サダナ2(入門ABCまたはサダナ1経験者のみ)
4回すべて参加可能な方のみ。部分参加は不可。
2024年1月27日(土)・28日(日)
2月3日(土)・4日(日)

〈ピースあいち企画展〉

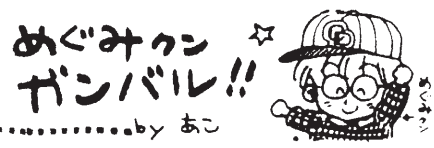
沖縄から平和を考える

—ウチナーとヤマトの架け橋に—

5月16日(火)~7月8日(土)
6月23日沖縄慰霊の日を中心に毎年開催している「沖縄展」。琉球王国から近代沖縄への「世替わり」の史実、第二次大戦中の沖縄戦、米軍基地と戦後沖縄の抱えてきた問題、そして今年「南西諸島軍事要塞化」の実態についてのパネルも用意。
開館時間 11時~16時(最終日15時)
休館日 日曜日・月曜日 入館料 大人300円・小中高生100円

戦争と平和の資料館ピースあいち

名古屋市名東区よもぎ台2-820
TEL & FAX 052-602-4222 https://peace-aichi.com/
★地下鉄「一社」①出口から北へ徒歩12分
★地下鉄「上社」から市バス上社11系統「じあみ」下車、西へ徒歩3分
★駐車場 有料300円2台・障害者用無料1台



聖ペトロ使徒座への献金 (6月25日)
教皇は、世界各地を訪問して人々の苦しみや悩みに耳を傾け、優しい笑顔で力づけ、祈りと具体的な援助を通して世界中の人々に寄り添う。教皇に心を合わせて、私たちも世界中の苦しむ人々のために祈りと献金をささげる。聖ペトロ使徒座への献金は、教皇のこうした活動に充てられる。

- 6月の教会暦
1日(木) 聖ユスチノ殉教者(記)
3日(土) 聖カロロ・ルワンガと同志殉教者(記)
4日(日) 三位一体の主日(祭)
5日(月) 聖ボニファチオ司教殉教者(記)
11日(日) キリストの聖体(祭)
13日(火) 聖アントニオ(パドバ)司祭(記)
16日(金) イエスのみ心(祭)
17日(土) 聖母のみ心(記)
18日(日) 年間第11主日
21日(水) 聖アロイジオ・ゴンザガ修道者(記)
24日(土) 洗礼者聖ヨハネの誕生(祭)
25日(日) 年間第12主日
28日(水) 聖ペトロ使徒座への献金
28日(水) 聖イレネオ司教殉教者(記)
29日(木) 聖ペトロ 聖パウロ使徒(祭)

- 7月の主な教会暦(主日・祭日など)
2日(日) 年間第13主日
9日(日) 年間第14主日
16日(日) 年間第15主日
23日(日) 年間第16主日
30日(日) 年間第17主日
7月の行事予定
4日(日) 宣教師牧評議会*
8日(木) 教区顧問会*
9日(金) 正平委定例会
10日(土) 殉教者委定例会
11日(日) 典礼委コアミーティング
13日(火) 津島愛西教会献堂式*
14日(水) 松浦司教着座記念日
15日(木) 樹の会
17日(土) カリタス福祉委員会
18日(日) レジオ・マリエ名古屋クリア黙想会
20日(火) 愛岐B会議
22日(木) カトリック看護協会例会
24日(土) 司祭評議会*
25日(日) 濃尾B会議
25日(日) 一粒会の集い東海地区*
7月
1日(土) カトリック看護協会「松浦司教様との集い」
2日(日) 平針教会堅信式*
8日(土) 典礼委コアミーティング
9日(日) 殉教者委定例会
11日(火) 信徒協役員会
11日(火) 城東B会議/三河B会議 樹の会

建設費の返済に協力を
656件 34,949,902円
目標額 40,000,000円 (4月30日現在)
達成率 約87.4%
郵便振替 00810-5-50605
加入者名 カトリック名古屋教区
通信欄に「福音館建設」と必ずご記入ください。

告知板
6月の炊き出し
木1日(東山)、8日(布池)、15日(南山)、樹の会、22日(城北橋)、29日(一宮)、金2日(喜望の会)、9日(南山)、16日(布池)、23日(布池)、30日(東山)

- 6月
1日(木) 常任司教委員会
6日(木) 常任司教委員会
7月
18日(火) 司教総会
21日(金) 司教総会
7月の行事以外の松浦司教予定
27日(木) 月集*
30日(日) 難民委・若者のミサ
2023年度正義と平和委員会学習会
年間テーマ 「やられた方から歴史を見る パート2 ~誰一人置き去りにしない~」

カトリック看護協会(JCNA)主催 『松浦司教様との集い』
テーマ 『生活の中のみことば』
~日々ストレスの多い仕事を抱えている私たちへ、主のみことばは癒しと励まし~
医療、看護、介護における体験や悩みを松浦司教様と分かち合しましょう
日時 7月1日(土) 13時30分~15時30分(入室開始13時~)
参加方法 リモート(ZOOMでの開催) 参加費 無料
対象 カトリック医療従事者、カトリックの精神を重んじた医療・看護・介護に関心のある方
申込み・問合せ JCNA 名古屋支部 鈴木光恵
E-mail jcna.nagoya@gmail.com
または 社会福祉法人聖霊会
カトリック社会事業室 村木
電話 052-832-1181(内線 7354)
締切り 6月28日(水)
主催 日本カトリック看護協会 名古屋支部
※申込みされたメールアドレスにZOOMの招待状をお送りします。
※QRコードからも申し込みができます。

ウクライナ戦争被災者支援 クラウドファンディングにご協力を
愛の実行運動本部は、日本カトリック障害者連絡協議会と共に、ウクライナの戦争被災者、病人、高齢者、障害者、子ども、女性への支援活動のため、クラウドファンディングを立ち上げた。
今回は募集期間が3月13日(月)~6月12日(月)。目標金額500万円。
集まった基金はカリタスウクライナや駐日ウクライナ大使館とも連絡を取り合っており、とくに防寒用品の購入に使いたいとしている。
くわしくは、こちらから➡
https://congrant.com/project/ainojikkouundo/6231
問合せ 電話 052-838-5340(下村) 電話 052-852-1426(村上)
Eメール:ainojikkouundo@gmail.com
主催 愛の実行運動本部
共催 日本カトリック障害者連絡協議会

日本カトリック部落差別人権委員会講演会 <Zoomアプリで自宅でも視聴できます>
世界はもっと豊かだし 人はもっと優しい
講師 森達也さん(映画監督・作家。1956年広島県生まれ。オウム真理教信者たちの生活をドキュメンタリー映画にした「A」(98年公開)はベルリン国際映画祭に正式招待された。関東大震災時の虐殺事件を題材にした初めての劇映画「福田村事件」が2023年9月に公開予定)
日時 7月2日(日) 14時~16時
会場 東京カテドラル関口会館地下ケルンホール
開催方法 対面およびZoomによるハイブリッド方式
申込み Eメールで名前、所属(教会名など)、参加形式(会場/オンライン)をお知らせください。
主催・問合せ 日本カトリック部落差別人権委員会
Eメール:buraku@cbcj.catholic.jp
電話 03-5632-4482

2023年度正義と平和委員会学習会
年間テーマ 「やられた方から歴史を見る パート2 ~誰一人置き去りにしない~」
日時・場所 テーマ 講師
7月14日(金) 10時30分 福信館 性的マイノリティーに生きて 後藤香織さん(聖公会司祭)
9月8日(金) 10時30分 福信館 DVの女性被害者 駆け込みセンター愛知
「やられた方から歴史を見るということは、イエスに従う私たちの現実に対する姿勢につながります。社会も、組織も、誰一人残さないことを軸とする包摂的ないのちのつながりとなる営みが、現代の福音の生き方であると信じています。」(弘田しずえ『福音宣教』2022年1月号)
問合せ カトリック名古屋教区正義と平和委員会
〒461-0004 名古屋市東区葵2-6-29 福信館気付
FAX 052-935-7195

カトリック中央協議会 HIV/AIDS デスク第9回勉強会 『まず知ることから』 感染症医療現場からのメッセージ
1980年代の薬害エイズ事件などによって、多くの人が強烈な印象とともにHIV/エイズについて知ることになりました。それから数十年の間に、医学は進歩し治療が確立し、感染のリスクも激減していますが、人々の意識はどう変化してきましたか。
どうすれば正しい知識や認識を広められるか、偏見・差別は取り除くことができるのか、一緒に考えてみませんか。
お話し 白野倫徳さん(大阪市立総合医療センター感染症内科部長)
導入 平良愛香さん(HIV/AIDS デスク委員、日本基督教団牧師)
日時 6月24日(土) 13時~17時
会場 エル・おおさか7階701会議室(Osaka Metro谷町線・京阪電鉄「天満橋駅」西300m)
開催方式 対面およびZoomによるハイブリッド方式
定員50名 参加無料
申込み 電話かEメールで、参加形式(対面/Zoom)、お名前、所属をお知らせください。
主催・問合せ カトリック中央協議会 HIV/AIDS デスク
電話 03-5632-4414
Eメール hivaid@cbcj.catholic.jp

旧約聖書から学ぶキリスト教霊性
一キリストの十字架の恵みをより味わうために一
日時 7月1日(土) 14時30分~16時30分
場所 跣足カルメル修道会日比野修道院(カトリック日比野教会)
テーマ 原初史①(創世記1章、6-9章)(キーワード) 神の支配、神の愛、罪、祝福、ノア契約とイエス・キリストによる新しい契約、創9:5「あなたたちの命である血が流された場合、わたしは賠償を要求する」をどう理解するか。他、カトリック教会における聖書解釈の基礎、など。
持ち物 必ず聖書(旧約+新約)をご持参ください。
担当 志村武神父(跣足カルメル修道会)
参加費 無料
問合せ 日比野修道院(052-671-1003)